

鹿島小だより

第48号 平成30年12月3日(月)発行 文責：鈴木

【電話】0244-46-2240【ホームページ】<https://minamisoma.fcs.ed.jp>

平成30年度重点目標「話し合おう やってみよう」

今年も師走を迎えました

早いもので、今年もいよいよ最後の月に入りました。もうすぐ平成最後のお正月がやってきます。これから年末に向けて、それぞれのご家庭でも職場でも、慌ただしさが増してくることでしょう。学校では、2学期の学習のまとめに力を入れる時期になってきました。また、朝晩の冷え込みがだいぶ厳しい日があり、風邪の症状を訴えて欠席したり早退したりする子どもたちも、ぽつぽつと出始めました。例年インフルエンザや感染性胃腸炎などは、年が明けてから流行の兆しが見え始めます。体調が悪くと思ったら、無理をしないでゆっくり体を休めたり、早めに医療機関を受診したりすることなどを心がけ、症状が重くなったり長引いたりしないようにみんなで気を付けていきましょう。第2学期の終業式は21日(金)です。みんなが元気に終業式を迎えられることを願っています。



放射線について考える



11月27日(火)には環境再生プラザの青木先生にお越しいただき、6年生を対象に放射線教室を行いました。私たちは、空気中や食べ物などの自然界にある放射線を年間約2.4ミリシーベルト、医療機関などでのレントゲンやCTスキャン等を通して年間約3.9ミリシーベルト受けていることを、青木先生から教わりました。南相馬市では除染作業を進めたり、ガラスパッジやホールボディーカウンター検査などを通して、市民の被曝量をしっかり検査していることなどのお話がありました。さらに、現在市場に出回っている食品は、すべて検査で安全性が確認された物であるというお話もありました。また、未だに風評被害があり福島県産の食品が敬遠されていることも話題にされ、どうすればそのようなことが少なくなっていくのかを、

グループで話し合っ意見をもとめ発表しました。 《裏面もご覧ください》

《 お め で と う 》

◆ ふくしまを十七字で奏でよう絆ふれあい支援事業・復興部門

最優秀賞 3年 渡部 さん「いつ会える もう言わないよ お父さん」
(父) 渡部 さん「子供たち また一緒に 暮らせるぞ」

◆ ふくしまを十七字で奏でよう絆ふれあい支援事業・絆部門

佳 作 1年 酒本 さん「のまおいで『まいれ、まいれ』と がんばった」
(母) 酒本 さん「この日だけ 小さな息子が 武士になる」

児童生徒の交通事故防止に向けて

先月22日(木)に二本松市内において、軽自動車が電柱に衝突して後部座席に乗っていた高校生が亡くなる事故が発生しました。この高校生は家族が運転する車に同乗中であり、事故当時は下校途中でした。これを受けて、福島県警察本部交通企画課から「児童生徒の車両での送迎時の交通事故防止の徹底について」という文書が出されました。特に車を運転する保護者の皆さんには、

- **運転の基本である前方注視と的確なハンドル操作の徹底**
- **後部座席を含めた全席シートベルトの着用の徹底**

を呼びかけていますので、十分にご注意ください。